

令和4年度(令和 5 年度入試)

練馬区立石神井中学校

進路ガイド

第2集

3年	組	番	氏名
----	---	---	----

目 次

自己実現に向けて	校長先生より	……	1
1	都立高校の入学選抜について	……	2
2	私立高校の入試について	……	7
3	通信制高校・サポート校について	……	9
4	都立産業技術高等専門学校の入学選抜について	……	10
5	専修学校の入学について	……	10
6	受験に必要な書類について	……	11
7	合格発表・入学手続きについて	……	12
8	受験（受検）へ向けて今から準備しておきたいこと	……	12
9	今後の予定について	……	13
10	就職について	……	14
11	保護者の皆様へ	……	15

自己実現に向けて

校長 櫻井 弘

中学校卒業後の進路を選ぶということは、皆さんにとって大きな判断だと思います。真剣に自分と向き合い、よく考えて目標を決め、着実な努力の積み重ねにより、進路を力強く掴み取ってください。不安なこともあると思いますが、皆さんの先輩たちも、皆この時を乗り越え、石神井中学校から大きくはばたいていきました。皆さんにも、中学校生活で学んできたこと、努力してきたことを信じて、一日一日の学校生活を仲間とともに大切に過ごし、自己実現に結び付けていってほしいと思います。

自分の進路を決めていくためには、まず情報を集めましょう。都内だけでも高等学校は数百校あります。その中から候補の学校を絞っていきます。最終的には、1番行きたい学校1校、その次に行きたい学校数校に絞ります。その際大事にするのは「どこに行くか」ではなく「そこで何をやるか」です。やりたい勉強でもいいですし、部活動でもいいと思います。また、通学時間、行事、力を入れている学習、取ることのできる資格、高校卒業後の進路実績などの要素も検討し、より自分に合った後悔しない納得のいく選択をしていきましょう。目標が決定できたら、後はその実現のためにやるだけです。

皆さんが活躍するこれからの社会では、価値観もより多様になっていくと思います。そこで大切になるのは「自分」をもっていることです。石神井中学校では「主体的」ということを大切に生活し、たくさんのことを学んできました。受験勉強は進路を切り拓くための勉強ですが、皆さんが今後もより良く生きていくためには、継続して勉強していくことが大切です。「勉強」という言葉に抵抗のある人は「体験」と置き換えてはどうでしょうか。楽しい体験を積み重ねていくことができるように、やるときは精一杯やりましょう。未来への展望と目的意識をしっかりともち、自分の夢を実現させましょう。石中生には将来「こういう経験をしてきたから、今の自分がある」と自分の選択を肯定できるように人生を歩んでほしいと思います。

1 都立高校の入学選抜

※都立入試についての最新の情報は東京都の教育委員会 HP で確認することができます。
(URL: https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/)



A 推薦に基づく選抜

(1) 日程

出願	(入力期間) 令和4年12月20日(火) から令和5年1月18日(水)まで 注意▲中学校が受検者の情報の入力を確認後書類準備・確認・送付等の事務を行うため 令和5年1月12日(木)までにオンラインでの出願手続きを完了し、中学校に 担任から添削を受けた自己PRカードなどの必要書類を提出してください。
検査	令和5年1月26日(木)・1月27日(金)
合格者の発表	令和5年2月2日(木) 午前8時30分(出願サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示)
合格者の入学手続	令和5年2月2日(木) 午前9時30分～午後3時30分 2月3日(金) 午前9時～正午

(2) 応募資格

① 令和5年3月に卒業見込みである。 ② 入学後、都内から通学することが確実である。 ③ 定時制は、入学後、都内に住所または勤務先を有すること。 ④ 第1志望として志願する意志があること。 注意▲国公立を含めた中での第1志望が要件であるため、出願後受検しないことや、合格の辞退は もちろん、他校への推薦出願することはできません。 ⑤ 在学している中学校の校長の推薦を受けていること。 注意▲「石神井中の推薦基準」を満たし、校長から推薦を受ける必要があります。
--

(3) 推薦の種類と選抜方法

推薦の種類	選抜の目的	主な検査内容※学校により異なります
① 一般推薦	基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手の的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。	・個人面接 ・調査書 ・小論文、作文、実技検査などから1つ以上を実施
② 文化・スポーツ等特別推薦	各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。	・個人面接 ・調査書 ・小論文、作文、実技検査などから1つ以上を実施
③ 特別推薦(理数)	科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。	・個人面接 ・調査書 ・小論文 ・レポートの口頭試問

※集団討論は本年度も実施しません。

※自己PRカードは、点数化はしませんが同点のとき順位をつけるに使用します。

※特別推薦(理数)の詳しい選抜方法は立川高校 HP ご覧いただくか、担任にお問い合わせください。

※王子総合・橘・松原・六郷工科の4校では令和5年度選抜では特別選抜を行いません。

(4) 募集定員について

例年では普通科は 20%以内、その他専門科は 20~40%以内で学校ごとに定めています。文化・スポーツ等特別推薦はこれらの枠の一部(数人程度)です。詳しくは、東京都教育委員会 HP や各都立高校 HP をご覧ください。また、本年度は男女別定員の緩和措置があります。

(5) 出願方法 ※例年とは大きく異なります。ご注意ください。

①出願できる推薦の種類

一般推薦	1校1コースまたは1科に限り出願できます。志願変更はできません。 学科内に複数の科があるときは、第2志望を指定して出願できます。
文化・スポーツ 特別推薦	1種目を指定し、1校1コースまたは1科に限り出願できます。志願変更はできません。 当該校の一般推薦にも併願できます。
特別推薦 (理数)	1校1コースまたは1科に限り出願できます。志願変更はできません。 当該校の一般推薦併願はできません。

②推薦の出願に要する書類

学校が用意するもの	各家庭で用意するもの
<ul style="list-style-type: none"> ・調査書 ・推薦書(各種専用のもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試用願書(各自でオンラインで手続き、受検票発行) ・入学考査料(2200円) ・自己PRカード

※令和5年度選抜では特別推薦の「志願者の活動の実績等を証明する書類等の写し」は、主な実績の欄の記入をしないため、提出の必要はありません。

注意▲提出書類(オンライン出願をした場合は自己PRカード)は全て中学校がまとめて各都立高校に送付します。早めに担任に提出し、事前にしっかりとチェックを受けてください。

③推薦のオンライン出願の流れ

①	②	③	④	⑤	⑥
各家庭で志願者のユーザーIDを登録(メールアドレスの登録が必要となります。)	氏名・写真データなど必要な情報を入力し、入力情報の確認を中学校に求める。	中学校が入力情報を確認し、承認する。	考査料(2200円)を支払う。(オンライン決済もしくは振込用紙)	中学校から必要書類を高校へ送付する。	高校が書類確認後、各家庭で受験票印刷。(コンビニ等での印刷可)

※オンラインでの手続きが困難な場合は紙面での手続きも可能ですので事前に担任にご相談ください。

B 学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）

（１） 日程

出願		(入力期間) 令和4年12月20日(火) から令和5年2月7日(火)まで 注意▲中学校が受検者の情報の入力を確認後書類準備・確認・送付等の事務を行うため <u>令和5年2月2日(木)までにオンラインでの出願手続きの入力手続きを完了し、 令和5年2月5日(日)までに考査料の振り込みを完了してください。</u>都立高校 の推薦出願者は、合格発表日当日の手続きとなり、時間が無く大変恐縮ではありますが、 確実に手続きを進めていくためご協力お願いいたします。
志願変更	取り下げ	令和5年2月13日(月) 午前9時～午後3時
	再提出	令和5年2月14日(火) 午前9時～正午
検査		令和5年2月21日(火) 集合 午前8時30分 (面接や実技検査がある場合は令和5年2月21日(火)以後、各都立高校が定める日時)
合格者の発表		令和5年3月1日(水) (全日制) 午前8時30分(出願サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示) (定時制) 午前8時30分(出願サイト上で発表) 午後4時(校内掲示)
合格者の入学手続		令和5年3月1日(水) (全日制) 午前9時30分～午後3時30分 (定時制) 午後4時～午後8時 3月2日(木) (全日制) 午前9時～正午 (定時制) 午後4時～午後8時

（２） 応募資格

- ① 令和5年3月に卒業見込みもしくは中学校を卒業していること。
- ② 入学後、都内から通学することが確実であること。
- ③ 定時制は、入学後、都内に住所または勤務先を有すること。

【お願い】 出願後、第1志望の私立高校に合格した場合は、都立高校の受検を辞退してください。
 一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保証できるよう、ご協力お願いいたします。

※推薦に基づく選抜に合格した生徒は出願できません。また、都立産業技術高等専門学校に合格し、手続きを完了させた者は、出願していても受検資格はなくなります。

（３） 選抜方法

① 学力検査

全日制および定時制 2月21日(火) 集合：午前8時30分 (※一部例外があります)

1	国語	午前 9時00分～ 9時50分	50分
2	数学	午前10時20分～11時10分	50分
3	英語	午前11時40分～12時30分	50分 うちリスニング10分
4	社会	午後 1時30分～ 2時20分	50分
5	理科	午後 2時50分～ 3時40分	50分

※学力検査のない学校（エンカレッジスクールなど）や面接試験を実施する学校もあります。

※日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立、新宿、隅田川、国分寺は国・数・英に関して自校作成問題を 사용합니다。

② 調査書

学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）では本年度より中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果が活用されます。中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）を活用した総合得点の求め方の詳細は第1回進路説明会で配布した進路ガイド（第1集）もしくは右のリンクから東京都教育委員会 HP をご覧ください。



(4) 募集定員について

募集定員に関しましては、東京都教育委員会 HP や各都立高校 HP をご覧ください。1校1コースまたは1科に限り出願できます。また、学科内に複数の科があるときは、志望順位をつけて出願できます。募集定員に満たなかった学校は第2次募集をおこなう場合があります。また、本年度は男女別定員の緩和措置があります。こちらでも詳しくは、東京都教育委員会 HP や各都立高校 HP をご覧ください。

(5) 出願方法 **※例年とは大きく異なります。ご注意ください。**

①第一次募集・分割前期募集の出願に要する書類

学校が用意するもの	各家庭で用意するもの
・ 調査書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 願書(各自でオンラインで手続き、受検票発行) ・ 入学考査料(全日制 2200 円、定時制 950 円) ・ 中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) スコアレポート

※面接がある学校及び定時制高校は自己 PR カードの提出が必要となります。

注意▲提出書類は全て中学校がまとめて各都立高校に送付します。

②第一次募集・分割前期募集のオンライン出願の流れ

①	②	③	④	⑤	⑥
各家庭で志願者のユーザーIDを登録（メールアドレスの登録が必要となります。）	氏名・写真データなど必要な情報を入力し、入力情報の確認を中学校に求める。	中学校が入力情報を確認し、承認する。	考査料を支払う。（オンライン決済もしくは振込用紙）	中学校から必要書類を高校へ送付する。	高校が書類確認後、各家庭で受験票印刷。（コンビニ等での印刷可）

※オンラインでの手続きが困難な場合は紙面での手続きも可能ですので事前に担任にご相談ください。

③志願変更

生徒本人（難しい場合は保護者）が出願した高校に志願変更願（中学校が発行します）を持参して、生徒手帳を提示し、出願書類の返却してもらい、翌日の午前中に生徒本人が高校に書類を再提出します。

志願変更	取り下げ	令和5年2月13日（月） 午前9時～午後3時
	再提出	令和5年2月14日（火） 午前9時～正午

④その他志願方法が異なる学校（出願手続きの詳細内容は各都立高校の募集要項をご覧ください。担任にお問い合わせください。）

- (1) 国際バカロレアコース 国際
- (2) チャレンジスクール 六本木 大江戸 世田谷泉 稔ヶ丘 桐ヶ丘 八王子拓真 小台橋

注意▲チャレンジスクールは専用の願書と「志願申告書」を取り寄せる必要があります。

- (3) 昼夜間定時制高校 一橋 新宿山吹 浅草 荻窪
- (4) 海外帰国生徒対象 三田 竹早 日野台 国際
- (5) 在京外国人生徒対象 竹台 田柄 南葛飾 府中西 飛鳥 六郷工科 杉並総合 国際
- (6) 引揚生徒対象 深川 光丘 富士森
- (7) 通信制 一橋 新宿山吹 砂川

C 学力検査に基づく選抜（分割後期募集・第二次募集）

（1） 日程

出願	令和5年 3月 6日（月） 午前9時～午後3時 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>注意▲分割後期募集・第2次募集の場合はオンライン出願ではなく、書面を志願者が直接高校に持っていきます。また、願書には中学校で公印を押す必要がありますので、高校提出前に必ず担任へ提出してください。</p> </div>	
志願変更	取り下げ	令和5年3月 7日（火） 午前9時～午後3時
	再提出	令和5年3月 8日（水） 午前9時～正午
検査	令和5年3月 9日（木） 集合 午前8時30分 （面接や実技検査がある場合は令和5年3月 9日（木）以後、各都立高校が定める日時）	
合格者の発表	令和5年3月15日（水） 正午	
合格者の入学手続	令和5年3月15日（水） 正午～午後3時 3月16日（木） 午前9時～正午	

※定時制第二次募集に関しては出願：3月22日（水）、検査：3月27日（月）合格発表：3月28日（火）の日程で行われます。詳しくは担任にご確認ください。

（2） 募集定員について

募集定員に関しましては、分割後期募集に関しては東京都教育委員会 HP や各都立高校 HP をご覧ください。第二次募集に関しましては例年第一次募集・分割前期募集合格発表日に、定員に満たなかった都立高校が、その人数分の募集を発表します。詳細は東京都教育委員会 HP や新聞発表をご確認ください。

注意▲私立高校の合格手続きは、都立一次発表の翌日までに終える学校がほとんどです。特に併願優遇制度を希望する際は、都立二次募集の出願の可否にご確認ください。

（3） 「分割後期募集・第二次募集」と「第一次募集・分割前期募集」の違い

	分割後期募集・第二次募集	第一次募集・分割前期募集
検査日	令和5年 3月 9日（木）	令和5年 2月21日（火）
出願手続き	願書を高校に直接持参	オンラインで手続き
検査問題	国・数・英	国・数・英・社・理
調査書の扱い	学力検査：調査書＝6：4（もしくは5：5）	学力検査：調査書＝7：3
ESAT-Jの活用	活用しない	活用する

D インフルエンザ等追検査

- ・追検査は分割後期募集と同日に同問題で実施されます。
- ・2月22日（水）までに中学校を経由して高校へ「措置申請書」を提出する必要があります。
- ・追々検査についても規定があります。詳しくは担任にご確認ください。

2 私立高校の入試について

【お願い】私立高校の入試制度に関しては、学校ごとに手続きが異なりますので必ず入試説明会などに参加するとともに、早めに入試要項や入学願書をご覧頂き、入試制度に関して家庭でしっかりとご確認ください。また、わからないことがあれば遠慮なく担任にご相談ください。

A 推薦入試(中学校長が推薦するものについて)

(1) 応募資格

- ① 令和5年3月に卒業見込みである。
- ② 志望校の教育方針を本人・家庭ともにしっかりと理解し、第1志望として志願する意志があること。
- ③ 在学している中学校の校長の推薦を受けていること。

注意▲「石神井中の推薦基準」を満たし、校長から推薦を受ける必要があります。

- ④ 出願基準を満たしていること。

注意▲高校によって基準は異なります。また、中学校を通して入試相談(12月15日の予定)を行い事前に高校側と出願基準を満たしているか確認をする必要があります。推薦希望者は、「推薦願」を中学校に期限までに提出してください。

- 【例】○中学での欠席・遅刻数などが、その学校の規定を満たしていること。
○中学校の2学期の評定の数値が、その学校の規定を満たしていること。
(学校により異なる 3科、5科、9科の合計など)
○皆勤、諸検定、生徒会活動や部活動の状況により加点する高校もあります。

注意▲必ず説明会や個別相談会などで高校の担当者と条件や具体的な数値などを確認してください。(説明会や個別相談会への参加が出願条件になっている学校も多くあります。)また、説明会で直接相談することで合格の可能性や、努力する目標点などを伝えてくれる場合があります。相談を受けて頂いた高校の担当者の方の名前などを念のために控えておくことをおすすめします。

(2) 推薦の種類

① 単願推薦 ※高校によって呼称は異なります。
12月の中学校との入試相談で条件等の確認を終えているので、1月の入試は面接・作文などで、コミュニケーション力、高校の特色の理解、十分な知識、そして、入学後のやる気などで判定されることとなります。その上で、適性検査を実施する学校も増えていきます。合格率は比較的高いですが、合格確実というわけにはいきません。2月の一般入試の受験をすすめられる場合もあります。

② 一般推薦 ※高校によって呼称は異なります。
推薦への出願基準を満たす生徒で、面接や適性検査を行う推薦入試です。1月の入試で面接や作文だけでなく、適性検査(主に、国数英の試験)を行い、合否を判定する場合も多いです。大学付属校に限らず、高倍率となる高校も増えていきます。

※中学校長の推薦を要しない「自己推薦」と呼ばれる制度の学校などもあります。



B 一般入試 ※入試相談を行わず、併願優遇措置を利用せずに受験する形態です。

出願	<p>東京都の私立高校は、1月下旬から2月上旬。(他県は早いので担任に相談してください。) 石神井中学校では1月23日(月)に、調査書等を渡す予定です。</p> <p>注意▲入学願書を各家庭でご準備頂き、中学校から調査書などの必要書類を受け取り、中学校を通さずオンラインや郵送で出願していただく場合が多くなっています。各家庭で期限などを確認し、早めにご準備ください。また、わからないことがあれば各私立高校もしくは担任にお問い合わせください。</p>
選抜試験日	東京都では令和5年2月10日以降が多い。
発表	試験日の翌日が多く、発表方法は、インターネット・掲示・郵送・手渡しなどがあります。
選抜方法	<p>学力試験 国・数・英の3科が多いです。</p> <p>面接試験 多くの学校で行われています。方法は、1対1・1対多・グループ面接などがあります。</p> <p>調査書 中学校で作成したもので、成績、出欠席、委員会、部活動などを記録しています。</p> <p>その他 作文・小論文・実技などが実施される場合もあります。</p>

C 併願優遇制度

種類	<p>①「公立併願優遇」…公立高校との併願のみ認めている。公立高校の発表まで手続きを待ってくれることがほとんどです。</p> <p>②「私立併願優遇」…公立高校、私立高校どちらとも併願を認めています。</p> <p>注意▲都立二次募集、分割後期募集は受験できない場合が多いです。都立二次募集、分割後期募集の受験を希望する場合は認めているか事前に確認しておきましょう。</p>
出願	<p>併願優遇制度の出願基準を満たしていることが必要です。他は、一般入試をほぼ同じですが併願優遇専用の書類(延納願等)を提出する場合があります。</p> <p>注意▲高校によって出願基準は異なります。また、中学校を通して入試相談(12月15日の予定)を行い事前に高校側と出願基準を満たしているか確認をする必要があります。併願優遇希望者は、中学校に「併願優遇願」を提出して期限までにください。</p>
選抜試験日	一般入試日と同じ受験日になる場合が多いです。
発表	試験日の翌日が多く、発表方法は、インターネット・掲示・郵送・手渡しなどがあります。
選抜方法	一般入試と大きくは変わりませんが、大幅な加点が行われているため合格する場合がほとんどです。しかし、当日の点数に加点をしても合格基準に満たない場合は不合格になる場合もあります。油断せずしっかりと対策をしておくことをおすすめします。



D 私立高校受験までの流れ

①	学校説明会・相談会に参加して、必要な要件・推薦基準を確認する。
② 10月28日(金)～	中学校の進路面談 希望の意志、相談の経過を担当に伝える。 ⇒高校で募集要項や願書などの書類を入手しておきましょう。
③ 11月10日(木)～	第3回定期考査
④ 12月 1日(水)～	三者面談 仮内申確認と希望の確認
⑤ 12月15日(木)～	中学校の先生による入試相談 推薦受験、併願優遇等が認められるかが決まる
⑥ 12月中旬以降	出願手続き開始
⑦ 1月22日(日)～	推薦入試 注意▲合格発表は、入試の翌日・翌々日であることが多く、入学手続きを合格発表後すぐ行わなければならないところが多いです。
⑧ 2月10日(金)～	一般入試(併願優遇制度利用も含む)

3 通信制高校・サポート校について

特徴	学力面や健康面などで、通常の高校などに進学できないが、「高校の学習をしたい」「高校卒業の資格を得たい」と考える意欲のある生徒を積極的に受け入れ、サポートする学校です。	
種類	通信制高校	通信制高校は、全日制高校や定時制高校と同じく、所定の単位を取得して高卒資格を得る学校です。自宅などで個別に学習を進め、郵送やインターネットでレポートを提出し、スクーリングを受講し、テストを受けて単位を取得していきます。 ※公立の通信制高校もあります。
	サポート校	入学と同時に提携している通信制高等学校にも入学し、レポート作成など、学力面での補助を行い、高校卒業資格を得ることを目的としています。3年間で卒業です。実質的に2つの学校に通うことになるので費用が高くなる場合があります。
<ul style="list-style-type: none"> * 学校の性質上、「親身の指導」をうたっているところが多く、ほとんどの学校は少人数のクラス編成になっています。スクーリングだけでなく、レポート等でも単位が取得できるところが多いです。 * 授業内容やカリキュラム、設備、費用などは学校によってまちまちなので、必ず説明会に参加し、学校の様子をよく把握してから進学することが大切です。 * 募集は早くから行われます。併願の制度もあるので、関心のある人は早めに視野に入れて検討しましょう。 		

※スクーリングとは…学校やスクーリング会場に登校して、先生から直接指導を受けること。

4 都立産業技術高等専門学校への入学選抜について

※詳しい学生募集要項は令和4年11月25日（金）より配布開始です。都立産業技術高等専門学校のHPもしくは高等専門学校にお問い合わせください。



A 期待する生徒の姿（アドミッションポリシー）について

- 1 向上心を持ち、自分の決めた目標に向けて粘り強く努力できる人
- 2 高専での教育を受けるのにふさわしい基礎学力を有している人
- 3 コミュニケーション能力を身につけ、世界を舞台に活躍したい人
- 4 ものづくりが好きで、実践的技術者になりたいと考えている人

B 日程

	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜
出願	1月12日(木)から 1月18日(水)までに必着 (品川キャンパスに郵送) ※品川・荒川のいずれかしか希望できない	2月1日(水)から 2月7日(火)までに必着 (品川キャンパスに郵送) ※品川・荒川に希望順位をつけることができる
検査実施日	1月27日(金)	2月15日(水)
合格発表日	2月2日(木)	2月20日(月)

注意▲ 高専が第一志望であること。都立高校とあわせて出願できますが、高専に合格した場合は都立高校を受験することはできません。

5 専修学校の入学について

高等専修学校とは、専修学校のうち高等課程を設置する学校の一般的な呼び名であり、入学資格は中学校卒業業者またはそれと同等の学力を有するものとなっています。中学校の教育を基礎に、職業もしくは実生活に必要な能力を育成し、または教養の向上を図ることを目的としています。

A コースによって異なる修業年限

●衛生系の調理・美容・理容 学校が養成施設であり、課程を修了すれば免許を取得できるため、1年制のところが多いです。
●家政系（服飾、デザイン）や商業実務系（簿記、パソコン） 多くの学科が3年制をとっています。職業上役立つ資格の取得を目指す場合に、高等学校卒業程度の学力を必要とするものが多いことや、さらに上級の資格取得をさせるためです。
●高卒資格の取得 3年制以上の高等専修学校では、通信教育課程や夜間課程を持つ高等学校と提携し、高卒資格が取得できる道を開いています。しかし、同時に2つの学校に入学することになるため、学費などについては、十分に調べておく必要があります。高等学校と提携していない高等専修学校では、一定の要件を満たしたと認められた学校に対しては、文部科学大臣が大学入学資格指定をすることができます。

B 入試について

入学試験	推薦入試、一般入試とも、学校により様々な形態がとられています。 ① 願書受付 11月1日～ ② 選抜方法は、学校によってまちまちです。受験日が2回、多いところでは7、8回あります。
学費	入学金・授業料・諸費用などを加えた初年度納入金は70万～130万円になることが多いです。実習の費用によっても異なるのでよく調べる必要があります。

6 受験に必要な書類について

志望先が決まり、いよいよ受験の手続きとなります。出願手続き、合格した場合の入学手続き等、その時々で、さまざまな書類が必要になります。これらに不備があると当然のことながら、受験にも入学にも支障をきたしてしまいます。学校ごとに若干の違いはありますが、ごく一般的な書類の提出についてまとめてみました。

A 高校出願に必要な書類

	都立高校	私立高校	備考
募集要項	中学校から配布 ※一部例外	見学の際などに受験校で購入 願書・調査書用紙・推薦書用紙 等が同封されています。	都立高専・定時制単位制校等は、 見学の際に入手してください。
入学願書	オンラインで出願 ※一部例外 受検票を各家庭で印刷		
調査書	決められた様式 中学校で用意します	高校により所定のものあり 「調査書作成願い」を提出の際、 担任にご提出ください。	「調査書作成願い」 ※12月中 受験校が決まったら、私立高 の募集要項のコピーとあわせ、 中学校へ提出してください。
推薦書	一般推薦・特別推薦 中学校で用意します。	高校により所定のものあり 「調査書作成願い」を提出の際、 担任にご提出ください。	「推薦願い」「併願優遇願い」 三者面談後、速やかに中学校へ 提出してください。
受験料	全日制 2,200円 定時制 950円	学校により異なります。 20,000円を超える学校が ほとんどです。	都立高専12,600円

B 高校出願の時に注意しておきたい事

●願書の記入について

油性の黒のボールペン（フリクションペンは使用不可）を使用して、ご家庭で記入してください。不安な場合は、事前に鉛筆等で薄く書き、担任にチェックしてもらいましょう。学校で記入する欄がある場合もあるので、入試要項、願書の記入方法をよく読んで、間違いのないようにしましょう。手続きの延納願を届ける学校があります。中学校の公印が必要な場合もあるので、早めに確認し、余裕を持って提出してください。また、印を押す場合は、シャチハタは認められませんので、必ず朱肉を使用する印にしてください。

●私立高校の推薦書について

多くの場合は、推薦書を各家庭でご準備頂き中学校に提出後、中学校が記入をして公印を押して厳封しお渡しすることになります。すぐには発行できませんので早めにご準備頂き、中学校にご提出ください。

●私立高校の調査書の様式について

「公立用」「私立共通様式」「私立独自様式」の三種類があります。
 ・「公立用」の場合は「中学校所定用紙(公立高等学校提出用可)」のような記載が募集要項にありますのでご確認ください。この場合は、中学校で調査書を準備できます。
 ・「私立共通様式」「私立独自様式」の場合は「本校指定のもの」というような記載が募集要項にありますのでご確認ください。この場合は、各家庭で調査書の記入用紙をご準備頂きます。また、手書きでの記入が必要な場合もありますので、すぐには発行できませんので早めにご準備頂き、中学校にご提出ください

●調査書の提出について

『親展』扱いの文書ですので、提出前に開封することのないよう、ご注意ください。開封すると無効になってしまいます。調査書は、出願時に願書と一緒に志望校に提出していただきます。また、私立高校では出願の際、調査書受領書が渡される場合があります。渡された場合は、担任に提出してください。

●受験（受検）票について

出願後、受験番号や受験日を中学校に報告してください。受験票のコピーを担任に渡しておくとお安心です。集合、時刻、場所、持ち物など確認してください。なお、高校入学後も受験票が必要になる場合もあるので、しばらく家庭で保管するようにしてください。

7 合格発表・入学手続きについて

入試要項に、定められている日程・期限についても確認の上すすめてください。また、合格、不合格に関わらず、担任の先生には結果をすぐに報告してください。

8 受験（受検）へ向けて今から準備しておきたいこと

●健康管理について

新型コロナウイルスの流行で、健康であることの大切さありがたさを実感させられる毎日ですが、受験においても健康管理の大切さは例外ではありません。

感染症に罹患した場合は再受験が認められる場合もありますが、推薦などでは多くの場合は不受験のため不合格となってしまいます。また、体調が悪いまま受験をしても本来の力を出せない場合もあります。

今のうちから規則正しい生活を心がけ、学校に遅れずに登校し試験開始時間にはしっかりと脳が覚醒できるリズムを作りましょう。

●見だしなみについて

面接などにおいては受け答えの仕方や内容が最も重要です。しかし、試験官も人間です。同じことを言われても場合によっては身だしなみによって印象が左右されてしまうこともあります。

例えば、前髪が目にかかっていると暗い印象になってしまったり、直前に前髪を切ったせいで前髪が気になり無意識に何度も触ってしまい、落ち着きが無いように見えてしまうことなどもあります。また、上履きが汚かったことばかりが試験官の印象に残ってしまったりしては、本来の内面の魅力が伝わりきらない可能性もあります。

おしゃれをする必要はありませんが、面接試験がある場合は特に清潔感のある身だしなみを心がけましょう。

【身だしなみでチェックしたいところ】

- ・顔付近…○清潔感のある頭髪 ○めがねは拭いてきれいにしておく
- ・服装…○制服を正しく着る ○ズボンやスカートの丈が下せる場合は長さを適正に調整しておく
○上履きを洗っておく ○校章・クラス章をしっかりとつける ○胸ポケットに余計なものを入れない

●受験勉強について

孫子の兵法書に「彼を知りて己を知れば、百戦して殆(あや)うからず。」という言葉があります。「相手と味方の実情を熟知していれば、百回戦っても負けることはない。」という意味です。

受験においてもこの考え方は重要です。まずは、味方=自分自身について知りましょう。得意な分野について知ることが大切ですが、自分の苦手分野について知ることがより大切です。問題が上手く解けないと落ち込みますが、「わからない問題に出会えてラッキー」と思い、どんどん解けない問題に出会えるようにしましょう。わからない問題にであったらしっかりと理解できるようにしておきましょう。自分で考えてわからない場合は先生に聞いてみましょう。また、多くの模試を受けることもわからない問題を見つけることには有効です。

次に、相手=志望校について知りましょう。出題傾向が必ずあるはずで、過去問などを解いてみるのが有効です。都立の場合は、都立の共通の過去問を全て解いたら近隣の県の過去問をやるのもよいでしょう。



東京都過去問



神奈川県過去問



埼玉県過去問

●受験はチーム戦

受験は個人戦でなくチーム戦だとよく耳にします。確かに個人個人で志望校に受験をするのですが、受験までの道筋はまさにチーム戦です。担任やサポートしてくれる先生とのチーム、家庭や保護者とのチーム、ともに受験に向かう同級生のチームなど、様々なチームとともに受験に向かいます。チームが強力であればあるほど力強く前に進めるはずで、一人で悩まず、周りに相談して良いチームを作っていくようにしましょう。

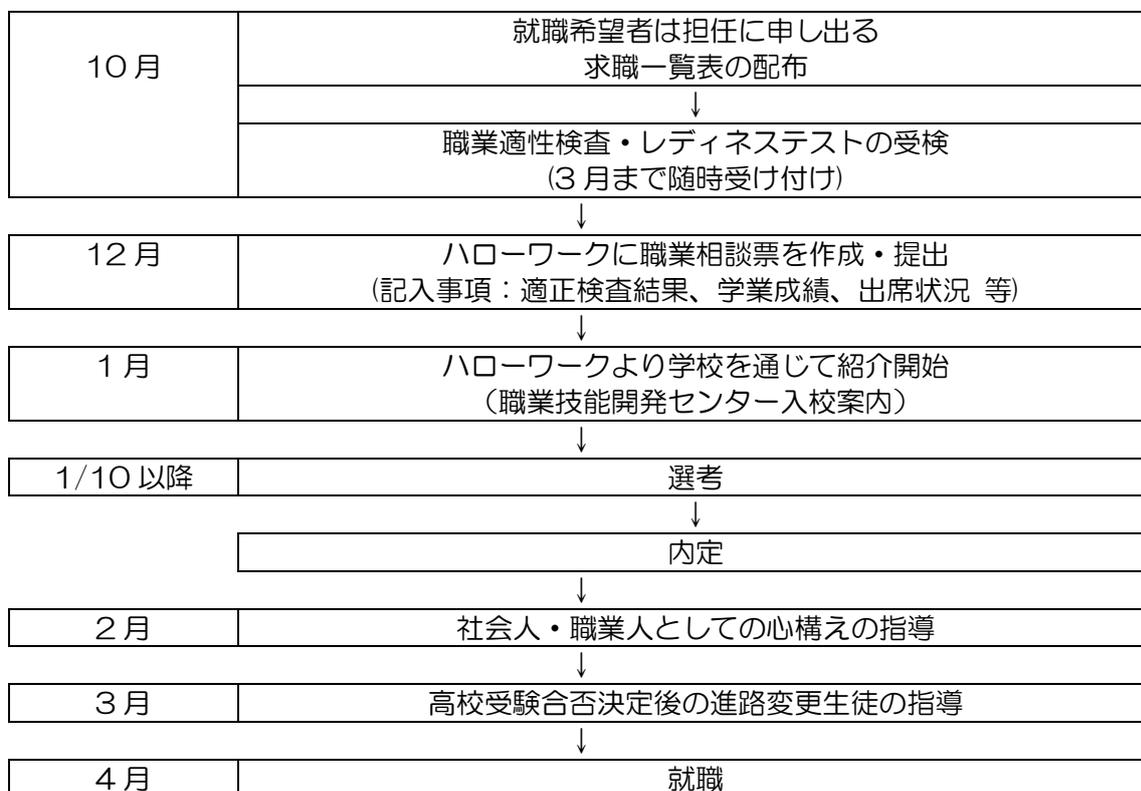
9 今後の予定について

<p>10月24日(月)締切 ○第3回進路希望調査</p>	<p>進路面談に向け、受験する可能性がある学校について、ご家庭の方針を決め、できるだけ見学をすませておきましょう。特に私立高校や専修学校で、推薦や併願優遇を考えている場合は、高校と相談した内容をお知らせください。</p>
<p>10月28日(金) ～11月4日(金) ○進路面談</p>	<p>会場テスト、領域診断テストや中間考査の結果を参考に、成績の予想を立て、今まで集めた情報をもとに判断していきます。 また、高校見学が必要な場合は、この期間の午後、次の三者面談までの土日を利用しましょう。願書や過去問題集の購入もすませておきましょう。</p> <p>注意▲受験する都立高校を絞り込む。そして、受験する私立高校をほぼ確定できる機会にしましょう。</p>
<p>11月4日(金)～13日(月) ○調査書記載事項 申告フォームの提出 11月15日(水)～21日(月) ○調査書記載事項申告内容 ○確認書類の提出</p>	<p>調査書の「諸活動の記録」の項目に記入する内容を、ご家庭で検討の上、タブレットで記入して提出しましょう。優先順位は上からとします。(項目は6項目程度記入できます。)申告した内容を改めて書面で確認し、署名をした上で提出してください。</p> <p>注意▲①賞状、合格証のコピーも添付してください。 (団体戦はプログラムのコピー等もお願いします。) ②面接の資料として活用されることもあります。</p>
<p>11月10日(木)～12(土) 第3回定期考査</p>	<p>期末考査期間後、推薦受験希望者に個人面接練習を順次始めます。志望動機、中学校で学んだこと 卒業後やりたいことなどいつでも表現できるようにしておきましょう。</p>
<p>11月21日(月)締切 ○第4回進路希望調査</p>	<p>受験校について十分に話し合い、志望する順番を明らかにしてください。この希望調査と今後決定する成績とを照らし合わせ、学年会議で一人一人の進路を吟味し、面談に備えます。</p>
<p>12月1日(木)～7日(水) ○冬季三者面談</p>	<p>私立推薦、都立推薦、都立の受験予定校、私立の第一志望、第二志望など志望校を決定します。</p> <p>注意▲事前に、2学期の評定の内定の数値をお知らせする予定です。成績に変動がある場合の、志望校の変更を含め対応をご準備ください。</p>
<p>12月10日(土)締切 ○推薦願等の提出</p>	<p>面談を受け、ご家庭で確認し、「推薦願」「併願優遇願」を担任に提出します。この書類をもとに15日からの入試相談を行います。</p> <p>注意▲提出後の変更はできません。</p>
<p>12月22日(木)までに ○調査書作成願の提出</p>	<p>受験が決まった学校について、<u>試験日の順番</u>に、出願期間と書類、方法、発表から手続きまでを明記し、 【私立高校の①調査書用紙、②推薦書用紙、③募集要項のコピー、 ④その他必要な書類】を封筒に入れ担任にご提出ください。</p> <p>注意▲複数ある場合、ファイルなどで仕分けしてください。</p>
<p>自己PRカードの完成 ※都立推薦者は 12月22日(木)締切</p>	<p>都立高校の推薦入試を希望する人は、2学期中に自己PRカードの清書を提出しましょう。推薦試験を受けない人も、受験校が決まっていれば、作成しておきましょう。</p>

10 就職について

学校においては、就職希望生徒についてハローワークとの連携を緊密にすることによって、生徒自身の適性と能力に適合した職業選択の道筋をつくるとともに、よき職業人、社会人に成長することを目標に職業指導を行っていきます。

A 就職までの流れ



B 職業選択のポイント

1 興味のもてる仕事を探す

自分にとって興味のもてる仕事は、生徒自身が大きなやりがいを感じ、能力を発揮しやすく、また、人間性の伸長に大きく貢献すると考えられます。

2 適性にあった仕事を探す

自らの特性を理解し、見つめ直し、職業を選択することは、自己を理解した上で新たな可能性と求め努力する姿勢を養うことにつながります。

3 どんな条件で仕事を探すか

実際に就職した職場で長期間勤めることが望ましく、また自己の生活をより豊かに高めることも重要なことです。給与、勤務時間等の条件の検討は職業選択の上で大切な要素です。

<注意事項>

- ・ ハローワークから求人の紹介を受けるためには、学校で職業相談票を作成し提出しなければなりません。
- ・ 高校受験合否決定後の進路変更においても、前記の手順で行うことになります。
- ・ 縁故就職は雇用条件が不確定なため、賃金、労働時間、休日等で問題が発生したり、早期に離職する生徒が多く見られます。学校を通じた安定所への求人申し込みも一つの方法です。
- ・ 近年、就職後1年目の離職者の増加が見られます。生徒自身の興味関心、特性等を、慎重に検討することが望まれます。

保護者の皆様へ

進路、入試に関わる書類や資料を以下の日程にてご提出していただきます。
お手元に届きましたら、お子様と確認の上、ご記入・押印のうえ担任宛ご提出ください。
なお、正式な書類になりますので、ご家庭にあるクリアファイルなどに入れてお持ちいただきますようお願い申し上げます。（専用の封筒を配布する書類もあります。）

学校へ提出していただく書類	配布予定日	回収〆切予定日
進路に関する書類作成上のお願い (生徒氏名、生年月日、保護者氏名、現住所など)	11月 8日(月)	11月21日(月)
調査書記載事項(諸活動の記録)への申告(タブレットで提出)	11月 4日(金)	11月13日(月)
調査書記載事項(諸活動の記録)申告内容確認書類	11月 15日(水)	11月21日(月)
卒業証書記載氏名の確認について	11月 8日(月)	11月21日(月)
推薦願、併願優遇願	12月の面談時	12月10日(土)
調査書作成願、入試カレンダー	12月10日(金)	12月22日(木)

※ 1月14日までに、調査書記載事項通知書を配布いたします。



Memo